



大網ロータリークラブ Club Weekly Bulletin



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター
TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
- 事務所：〒299-3251
大網白里市大網 450-6 ユアサビル 2 階
TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
- 会長：石田 英世 幹事：高野 祐二
- 広報・公共イメージ向上委員会
委員長 大越 将司・会報担当 石田 英世

2025年4月16日(水)
第26巻 第38号

通巻第1112号

<http://www.oamirotary.com>
E-mail: rc@oamirotary.com



本日の例会

点 鐘 会長 石田 英世
ソング 手に手つないで
会長挨拶 会長 石田 英世
幹事報告 幹事 高野 祐二
プログラム

1. 受入米山奨学生
サジャーニ様 自己紹介
2. 会員卓話 高山義則会員
「陸上競技場の豆知識」

ニコニコBOX

無し

例会日	4月9日	3月30日
会員数	29	29
出席	16	9
欠席	13	20
M U	0	0
免除	5	8
出席率	72%	59%

会長挨拶

石田 英世 会長



みなさん、こんにちは。

すっかり春めいてきました。
ニュースでは「気象」と「大谷選手」と「トランプ大統領」が話題を集めていますが、先日もドジャースがホワイトハウスを表敬訪問し大谷選手がトランプ氏から絶賛されていました。

さて、トランプ大統領はバイデン前政権が推進した DEI 施策を廃止し、また連邦政府として認める性別は変更不可能な男性と女性の二つだけであるとする大統領令に署名しました。

最近米軍の高官が解任されていて、先日も NATO の米軍代表だった海軍中将、2月米軍制服組トップ東郷参謀本部議長、今月3日には国家安全保障局局長ら DEI の推進に熱心だった人たちの粛清が拡大している模様です。

みなさんご存じのように、RI は DEI を推進しています。

寒郡ガバナーは行き過ぎた多様性を追求すると多くの問題が発生することは必然であり、最も重要な概念は公平性 (Equity) だと。お互いの違いを理解・尊重し合う文化を進化していくように思いますとおっしゃっています。

これからもいろいろなニュースがもたらされるでしょうが、世界的な組織に所属している以上、世界的視野で物事を考えて行くべきなのでしょう。

来週は休ませていただきますので、吉原エレクトよりよろしくお願いします。

卓 話

古山 豊 先生

「土気城酒井氏と顕本法華宗」

～土気酒井五代 100 年の軌跡～



五代 100 年とは、長享 2 年 (1488) 年、酒井定隆が土気古城を再興し、七里四方を日蓮宗 (顕本法華宗) に改宗した。

天正 18 年 (1590) 年、秀吉による小田原攻めにより、土気・東金両酒井氏も滅ぶ。

[戦国時代] 応仁の乱が起こった応仁元 (1467) 年から織田信長が將軍足利義昭を追って天下を統一 (1573) 年にのりだすまでのほぼ 1 世紀をさすことが多い。京都にある幕府の勢力が衰え、各地に戦国大名が割拠し武力抗争を繰り返した時代。

卓話謝礼



古山 豊 先生

令和 7 年大船渡大規模山林火災 被害支援金報告

会員寄付 BOX	36,500 円
クラブ予算より	13,500 円
合計	50,000 円

4/9 (水) 送金させて頂きました。

皆様のご協力に感謝申し上げます。

4/29 (祝・火) 地区研修・協議会

次期幹事

自クラブで、登録していない部会がある場合は、幹事部会の開始前に各部会会場より資料をお持ち帰りください。

1. 受付方法について

①クラブ登録の方

当日受付は、クラブ単位で行ないます。

幹事あるいは代表の方1名は 1階の受付にお越しく下さい。

クラブ登録人数分の冊子、名札をお渡しいたします。

クラブ会員の皆様へお渡しください。

※事務局用冊子は必ず事務局員様へお渡し下さい。

②地区役員、地区委員会登録、クラブ表彰・個人表彰 受賞者の方

1階、各受付に直接お越しく下さい。

2. 駐車場について

会場のTKP 東京ベイ幕張ホールの駐車場は満車になる可能性がございます。

できるだけ公共の交通機関でお越しく下さいますようお願い申し上げます。

当日、ホテル駐車場が満車の場合は近隣駐車場をご案内させていただきます。

3. 昼食について

午後の部会別会場にて昼食をお取りいただきます。

各会場にご用意してありますので、個々にお取りいただけます。

但し、クラブ幹事の昼食会場は1階コートダジュールとコッツウォルズとなっておりますのでご注意ください。



土気本寿寺 千葉市緑区土気町 (山号) 如意山。長享元 (1487) 年、日泰と酒井定隆により創建。七里法華根本霊場と称す。



土気善勝寺 千葉市緑区土気町 (山号) 宝珠山。元は真言宗極楽法寺という寺であったが七里法華の改宗令に際し、改宗し善勝寺と改める。

本寿寺の歴史 (「本寿寺縁起」より)

夫れ権大僧都日泰聖人は、敏達天皇の景葉にして橘姓也。永享四壬子(1432)京都白川に産まれ給う。幼より聰明にして宗祖の法儀を明して終に本山十六世を継ぎ、盛んに当派の法鼓を鳴らして七里法華開基たり。抑 師初文明元己丑年「三十八歳の時」下総浜野に本行寺を創立し睡で教化を四方に施し、爰に遠州の土にして酒井小太郎定隆「後八十一歳にして入道して清傳と號す。」公と言う者あり。尤も將にして足利義政に仕え、後関東に来て里見義弘に據り武畧を謀らんとし、武州品川より下総に航す時に、定隆主従「平山、藤代、竹内三人随従し右三人土氣谷に居住」泰師と同船す。海上己に二三里にして猛風俄に起り船將に覆んとす。その時聖人 舷に立たせ給ひ誦經神咒をなし海神撰護の妙文を書き波中に投げ給う。不思議や龍王乍ち納受し暴風卒然として止む。海静に波平になって船覆没の巨難を遁る。此に於いて一同奇異の喜をなす時に定隆公熟して師の容儀を視て稽首して申して曰く。今師の能力に依て萬死の危難を通るその恩 尤 大なり。願わくは武運隆昌の法あらば承奉らんと、聖人の曰く妙法の信心こそ武運を祈るの要街なり。例せば頼朝の開運法華千部の力也と道理現證を以て示す定隆これを聞いて深く感じ、我今より信心して武運を開かんと功遂げれば必ず今日の布施に領内を改宗せしめんと誓い、而して順風徐々にして船即ち浜野に着き 乃 公如意山(本行寺)に入りて受戒唱題す。それより公房州に赴き里見義弘軍務の事を問う。公答える所泰師の如し。ここに於いて義弘用いて将校たらしむ則下総中野に城を築き定隆をして居らしむ。公武運日に盛んに上総七分を得越中守に任ず。長享丁未元年(1487)、更に土氣金城を再興して之に移り或日定隆公臣下集めて曰く。汝等聞け我今日の武運は昔の源右府の如く全く法華の大經方にして亦復日圓聖人の賜なり。今や師の恩を報ぜんと此に於いて泰師を土氣城に請し厚く禮して聴法す說法したるに公に謂て曰く。城中に一寺を建て法に報ぜよと。依って一寺を建つ当山是なり。師また曰く。先年船中の誓約は如何かと。即公家臣「栗原宮島」に命じて領内へ改宗の令を出す是七里法華の権輿なり。

※『土氣古城再興傳來記』編集兼発行者 勝山豊七 53 頁)。尚ルビーなど一部は古山が付す。

本寿寺の宝物館には貴重な史資料が多数格納されている。例：日泰の袈裟衣、曼茶羅、日經上人の書等々

酒井氏と日泰 (京都妙満寺の僧) との出会い

酒井定隆は、京都から主従 4 人 (竹内出雲守、平山土佐守、藤代佐渡守の先祖) と一旗あげるべく戦乱の関東を目指した。途中品川から船で房州に渡るとき天候が急変し、船は木の葉のごとく波に翻弄され、定隆は「我が運命もはやこれまで」と覚悟を決めたこの時、激浪をもとせず、舷頭に立って法華経とお題目を唱えた僧侶がいた。日泰上人である。やがて激浪が嘘のように静まり船は無事浜野の港へ到着することができた。乗り合わせた人々は法華経の経力と日泰上人の姿に心を打たれ、それぞれ日泰上人に帰依した。定隆も御礼言上も兼ねて浜野の本行寺に立ち寄り、日泰上人と話をしてみると、法力だけでなく学識豊かにして弁舌さわやか。説法により心を打たれ定隆公は、「将来神仏の加護ありて、一国一城の主になったら、上人をお招きして寺を建立し、また我が領内ことごとく上人の教えに帰依させる」と約束して旅立って行った。

そうして後に見事、土氣城主となり、大望を我が手につかんだ酒井定隆公は、約束通り領内七里四方を「法華宗」へと改宗させた。→ [上総七里法華]

※「土氣城双廢記」「土氣古城再興傳來記」等に記載あり。

酒井氏五代、100 年の戦国時代をどう生き抜いたか。(略記)

- 1538 年 土氣酒井氏が小弓公方に味方して北条氏と戦う。
- 1549 年 酒井胤治が北条氏兼から二宮庄を与えられる。
- 1564 年 第二次国府台合戦後、土気は里美氏に東金は北条に属す。
- 1566 年 この年、土氣酒井氏が北条方に転じる。上杉謙信から胤治が 100 騎の軍役を命じられる。
- 1568 年 両酒井氏が里見氏から攻撃され従軍を申し出る。
- 1571 年 両酒井氏が正木氏に与して里見方に転じる。
- 1575 年 酒井康治が北条氏から攻撃され 60 人討ち取られる。両酒井氏が北条氏政に攻撃され兵糧が刈り取られる。
- 1576 年 氏政の侵攻により両酒井氏が北条氏に従軍する。
- 1589 年 土氣 300 騎、東金 150 騎により小田原に向かう。
- 1590 年 秀吉による小田原城滅亡により土氣・東金両城も豊臣軍に降る。